

○変更契約報告(2月分)

| | |
|----|-----------------------|
| 1 | 市道走出中央線道路舗装工事 |
| 2 | 金風呂漁港高潮対策工事 |
| 3 | 金崎大橋定期点検業務 |
| 4 | 市道絵師26号壱丁目線道路舗装工事 |
| 5 | 市道甲弩14号山手作立線道路舗装工事 |
| 6 | 市道東大戸220号田淵才崎線道路改良工事 |
| 7 | 市道大島中119号後ヶ市川手線道路改良工事 |
| 8 | 市道金崎浜田線電線共同溝工事 |
| 9 | 大島海に見える家合併処理浄化槽改修工事 |
| 10 | 市道絵師25号浜田線外1線測量設計業務 |
| 11 | 市道走出119号北大門浅香線測量設計業務 |
| 12 | 真鍋中学校裏法面災害復旧工事 |
| 13 | 豊浦港1号浮棧橋長寿命化工事 |
| 14 | 橋梁定期点検業務 |
| 15 | 真鍋中学校裏法面災害復旧工事 |
| 16 | 鳥ノ江排水路改修工事 |

変更契約報告書

| | |
|-------------------|--|
| 1 工 事 名 | 市道走出中央線道路舗装工事 |
| 2 工 事 位 置 | 笠岡市 走出 地内 |
| 3 契 約 者 | エム・シー・ロード(株) |
| 4 契 約 者 の 住 所 | 笠岡市美の浜9番地67 |
| 5 内 容 (概 要) | オーバーレイ工 L=100.0m (100.0m) W=4.00~6.65m (4.00~6.65m) ※()内は変更前 |
| 6 当 初 の 契 約 金 額 | ¥2,090,000 |
| 7 変 更 後 の 契 約 金 額 | ¥2,068,000 |
| 8 当 初 の 期 間 | 令和7年11月13日 ~ 令和8年2月27日 |
| 9 変 更 後 の 期 間 | — ~ — |
| 10 変 更 理 由 | 現地照査を行った結果、一部、舗装の取り壊し、打換え工が必要となったため 新規工種として計上する。 その他、諸数量の異同は現地精査の結果による。 上記理由により、金額及び数量に異同が生じたため、金額の変更を行う。 |

変更契約報告書

| | |
|-------------------|---|
| 1 工 事 名 | 金風呂漁港高潮対策工事 |
| 2 工 事 位 置 | 笠岡市 北木島町 地先 |
| 3 契 約 者 | 天野産業(株) |
| 4 契 約 者 の 住 所 | 笠岡市七番町1番地76 |
| 5 内 容 (概 要) | 高潮対策工事 基礎捨石 V=1,750m ³ (1,843m ³) 床掘 V=2,852m ³ (2,537m ³) ※()内は変更前 |
| 6 当 初 の 契 約 金 額 | ¥74,800,000 |
| 7 変 更 後 の 契 約 金 額 | ¥77,792,000 |
| 8 当 初 の 期 間 | 令和7年10月6日 ~ 令和8年3月30日 |
| 9 変 更 後 の 期 間 | — ~ — |
| 10 変 更 理 由 | 現地盤測量の結果、床掘及び基礎捨石数量に差異が生じたため変更する。 その他数量の異同は現地精査による。 上記理由により数量及び金額の変更を行う。 |

変更契約報告書

| | |
|-------------------|---|
| 1 業 務 名 | 金崎大橋定期点検業務 |
| 2 業 務 位 置 | 笠岡市 笠岡 地内 |
| 3 契 約 者 | 内海建設コンサルタント(株) |
| 4 契 約 者 の 住 所 | 岡山市北区北長瀬本町13番54号 |
| 5 内 容 (概 要) | 橋梁点検 N=1橋 (1橋) ※ ()内は変更前 |
| 6 当 初 の 契 約 金 額 | ¥5,170,000 |
| 7 変 更 後 の 契 約 金 額 | ¥4,532,000 |
| 8 当 初 の 期 間 | 令和7年8月18日 ~ 令和7年12月26日 |
| 9 変 更 後 の 期 間 | 令和7年8月18日 ~ 令和8年2月27日 |
| 10 変 更 理 由 | 橋梁点検の方法について、コスト縮減を図ることができるため、橋梁点検車による点検からドローン点検へ変更となる。 上記理由の結果、数量に異同が生じたため、金額の変更を行う。 |

変更契約報告書

| | |
|-------------------|---|
| 1 工 事 名 | 市道絵師26号巷丁目線道路舗装工事 |
| 2 工 事 位 置 | 笠岡市 絵師 地内 |
| 3 契 約 者 | (株)枅平組 |
| 4 契 約 者 の 住 所 | 笠岡市笠岡5286 |
| 5 内 容 (概 要) | 道路舗装工事 L=70.0m W=6.5m~9.0m アスファルト舗装工 A=594m ² |
| 6 当 初 の 契 約 金 額 | ¥12,485,000 |
| 7 変 更 後 の 契 約 金 額 | — |
| 8 当 初 の 期 間 | 令和7年9月29日 ~ 令和8年2月27日 |
| 9 変 更 後 の 期 間 | 令和7年8月25日 ~ 令和8年3月27日 |
| 10 変 更 理 由 | 追加で施工指示をした伸縮装置の納期が1月末となり、材料の手配に不測の日数を要し、工期内の完了が困難となった。 上記理由により、工期の変更を行う。 |

変更契約報告書

| | |
|-------------------|--|
| 1 工 事 名 | 市道甲弩14号山手作立線道路舗装工事 |
| 2 工 事 位 置 | 笠岡市 甲弩 地内 |
| 3 契 約 者 | エム・シー・ロード(株) |
| 4 契 約 者 の 住 所 | 笠岡市美の浜9番地の67 |
| 5 内 容 (概 要) | オーバーレイ工 L=145.0m (145.0m) W=2.10~2.60m (1.75~2.90m) ※()内は変更前 |
| 6 当 初 の 契 約 金 額 | ¥2,255,000 |
| 7 変 更 後 の 契 約 金 額 | ¥2,431,000 |
| 8 当 初 の 期 間 | 令和7年11月13日 ~ 令和8年2月25日 |
| 9 変 更 後 の 期 間 | — ~ — |
| 10 変 更 理 由 | 現地測量の結果, 設計と現地状況とで差異が生じたため, 舗装面積等が増となった。 上記理由により, 数量及び金額の変更を行う。 |

変更契約報告書

| | |
|-------------------|--|
| 1 工 事 名 | 市道東大戸220号田淵才崎線道路改良工事 |
| 2 工 事 位 置 | 笠岡市 東大戸 地内 |
| 3 契 約 者 | 上新建設(株) |
| 4 契 約 者 の 住 所 | 笠岡市茂平729番地の22 |
| 5 内 容 (概 要) | 道路改良工事 L=71.9m (71.9m) W= 5.0m (5.0m) ※()内は変更前 |
| 6 当 初 の 契 約 金 額 | ¥12,947,000 |
| 7 変 更 後 の 契 約 金 額 | ¥15,609,000 |
| 8 当 初 の 期 間 | 令和7年10月20日 ~ 令和8年3月19日 |
| 9 変 更 後 の 期 間 | — ~ — |
| 10 変 更 理 由 | <ul style="list-style-type: none">・当初は現道の左側のみ拡幅と水道管を本移設して横断管を施工する計画としていたが、現地踏査の測量の結果、水道管の仮移設が必要となることが判明した。配管場所確保のため、現道の右側の水路及び盛土を追加する。・特記仕様書に条件明示している週休2日工事の対象期間において、4週8休の実績が確認できたため、増額変更する。・その他、諸数量の異同は現地精査による。 上記理由により、数量及び金額の変更を行う。 |

変更契約報告書

| | |
|-------------------|--|
| 1 工 事 名 | 市道大島中119号後ヶ市川手線道路改良工事 |
| 2 工 事 位 置 | 笠岡市 大島中 地内 |
| 3 契 約 者 | 中国興業(株) |
| 4 契 約 者 の 住 所 | 笠岡市西大島4226番地3 |
| 5 内 容 (概 要) | 道路改良工事 L=60.0m (60.0m) W= 6.0m (6.0m) ※()内は変更前 |
| 6 当 初 の 契 約 金 額 | ¥19,250,000 |
| 7 変 更 後 の 契 約 金 額 | ¥23,485,000 |
| 8 当 初 の 期 間 | 令和7年8月25日 ~ 令和8年1月30日 |
| 9 変 更 後 の 期 間 | 令和7年8月25日 ~ 令和8年2月27日 |
| 10 変 更 理 由 | 現場発生土について、埋戻しに流用できない土質であるため、処分数量及び埋戻し土砂の搬入数量が増となる。 特記仕様書に伴い、週休2日工事の対象期間において、実績表にて確認できたため、増額変更とする。 その他、諸数量の異同は現地精査による。 上記理由により、数量及び金額の変更を行う。 |

変更契約報告書

| | |
|-------------------|--|
| 1 工 事 名 | 市道金崎浜田線電線共同溝工事 |
| 2 工 事 位 置 | 笠岡市 中央町 地内 |
| 3 契 約 者 | 理研技工(株) |
| 4 契 約 者 の 住 所 | 笠岡市東大戸743番地 |
| 5 内 容 (概 要) | 管路工 管路設置工 L=18.8m(L=18.8m) プレキャストボックス工 地上機器部 N=2基(N=2基) 分岐柵 N=0基(N=1基) ※()内は変更前 |
| 6 当 初 の 契 約 金 額 | ¥18,183,000 |
| 7 変 更 後 の 契 約 金 額 | ¥19,492,000 |
| 8 当 初 の 期 間 | 令和7年8月21日 ~ 令和8年1月30日 |
| 9 変 更 後 の 期 間 | 令和7年8月21日 ~ 令和8年2月27日 |
| 10 変 更 理 由 | <ul style="list-style-type: none">・警察との協議の結果, 現場に接する道路を通行する一般車両や歩行者・自転車が多いことから, 安全確保のため交通誘導員の人数が増となる。・掘削により家屋への影響が出るおそれがあるため, 家屋調査を追加する。・現地調査の結果, 次年度工事で分岐柵下の管路を施工するため, 分岐柵設置工が減となる。・その他, 諸数量の異同は現地精査による。 これらの理由により, 数量及び金額の変更を行うものである。 |

変更契約報告書

| | |
|-------------------|--|
| 1 工 事 名 | 大島海に見える家合併処理浄化槽改修工事 |
| 2 工 事 位 置 | 笠岡市 大島中 地内 |
| 3 契 約 者 | (株)太陽 |
| 4 契 約 者 の 住 所 | 岡山県笠岡市六番町4番地の3 |
| 5 内 容 (概 要) | 機械設備工事 一式(一式) ※()内は変更前 |
| 6 当 初 の 契 約 金 額 | ¥7,139,000 |
| 7 変 更 後 の 契 約 金 額 | ¥7,304,000 |
| 8 当 初 の 期 間 | 令和7年10月8日 ~ 令和8年2月28日 |
| 9 変 更 後 の 期 間 | — ~ — |
| 10 変 更 理 由 | ・コンクリート配合の変更 ・基礎支柱部ボイド浮上防止のためヒューム管を使用 ・浄化槽設置位置の変更に伴う既設浄化槽撤去後の埋戻し材追加 ・矢板打込み時に支障となるインターネット配線の撤去・再取付け等 上記により変更契約を行うものである。 |

変更契約報告書

| | |
|-------------------|---|
| 1 業 務 名 | 市道絵師25号浜田線外1線測量設計業務 |
| 2 委 託 場 所 | 笠岡市 絵師 地内 |
| 3 契 約 者 | (株)エース 岡山営業所 |
| 4 契 約 者 の 住 所 | 岡山県玉野市奥玉2-12-34 |
| 5 内 容 (概 要) | 測量業務 基準点測量 N=5点 路線測量 L=220m 現地測量 A=0.007km ² 用地測量 A=6,900m ² 設計業務 道路詳細設計 L=220m |
| 6 当 初 の 契 約 金 額 | ¥6,996,000 |
| 7 変 更 後 の 契 約 金 額 | — |
| 8 当 初 の 期 間 | 令和7年5月27日 ~ 令和8年2月27日 |
| 9 変 更 後 の 期 間 | 令和7年5月27日 ~ 令和8年3月27日 |
| 10 変 更 理 由 | 関係地権者との協議により、道路幅員及び道路中心線形の調整に不足の日数を要し、委託期間内の完了が困難となったため、工期の変更を行う。 |

変更契約報告書

| | |
|-------------------|---|
| 1 業 務 名 | 市道走出119号北大門浅香線測量設計業務 |
| 2 委 託 場 所 | 笠岡市 走出 地内 |
| 3 契 約 者 | (株)オーライズ |
| 4 契 約 者 の 住 所 | 岡山市北区平田102番地105 2F |
| 5 内 容 (概 要) | 測量業務 基準点測量 N=7点 路線測量 L=290m 現地測量 A=0.004km ² 設計業務 道路詳細設計 L=290m 補強土詳細設計 N=1式 |
| 6 当 初 の 契 約 金 額 | ¥8,965,000 |
| 7 変 更 後 の 契 約 金 額 | — |
| 8 当 初 の 期 間 | 令和7年7月7日 ~ 令和8年2月27日 |
| 9 変 更 後 の 期 間 | 令和7年7月7日 ~ 令和8年3月31日 |
| 10 変 更 理 由 | 地元調整に不足の日数を要したため、委託期間内に業務を完了することが困難となり、工期の変更を行う。 |

変更契約報告書

| | |
|-------------------|---|
| 1 工 事 名 | 真鍋中学校裏法面災害復旧工事 |
| 2 工 事 位 置 | 笠岡市 真鍋島 地内 |
| 3 契 約 者 | (株)大洋開発 |
| 4 契 約 者 の 住 所 | 笠岡市入江82番地7 |
| 5 内 容 (概 要) | ブロック積工 A=23.0m ² |
| 6 当 初 の 契 約 金 額 | ¥10,802,000 |
| 7 変 更 後 の 契 約 金 額 | — |
| 8 当 初 の 期 間 | 令和7年7月29日 ~ 令和8年2月27日 |
| 9 変 更 後 の 期 間 | 令和7年7月29日 ~ 令和8年3月19日 |
| 10 変 更 理 由 | 施工箇所と校舎が近接しており、作業用スペースが十分に確保できないため 現場発生土(流用土)を新たに設置した作業ヤードまで運搬する必要が生じた。 上記の理由により工期内の完了が困難となったため、工期の変更を行う。 |

変更契約報告書

| | |
|-------------------|--|
| 1 工 事 名 | 豊浦港1号浮棧橋長寿命化工事 |
| 2 工 事 位 置 | 笠岡市 北木島町 地先 |
| 3 契 約 者 | (株)枅平組 |
| 4 契 約 者 の 住 所 | 岡山県笠岡市笠岡5286番地 |
| 5 内 容 (概 要) | アンカーチェーン取替工 N=2本(N=2本) チェーン固定金物取替工 N=2か所(N=2か所) ※()内は変更前 |
| 6 当 初 の 契 約 金 額 | ¥3,003,000 |
| 7 変 更 後 の 契 約 金 額 | ¥2,805,000 |
| 8 当 初 の 期 間 | 令和7年11月27日 ~ 令和8年3月6日 |
| 9 変 更 後 の 期 間 | — ~ — |
| 10 変 更 理 由 | 現地調査にてチェーン固定金物の形状を精査した結果、陸側のエンドジャックルが不要となる。 その他諸数量の異同は現地精査による。 上記理由により数量及び金額の変更を行うものである。 |

変更契約報告書

| | |
|-------------------|---|
| 1 業 務 名 | 橋梁定期点検業務 |
| 2 委 託 場 所 | 笠岡市 甲弩外 地内 |
| 3 契 約 者 | アセス(株) 岡山支社 |
| 4 契 約 者 の 住 所 | 岡山市北区下伊福2丁目6-1 |
| 5 内 容 (概 要) | 橋梁点検 N=80橋 (80橋) ※()内は変更前 |
| 6 当 初 の 契 約 金 額 | ¥11,044,000 |
| 7 変 更 後 の 契 約 金 額 | ¥10,989,000 |
| 8 当 初 の 期 間 | 令和7年7月24日 ~ 令和8年2月27日 |
| 9 変 更 後 の 期 間 | 令和7年7月24日 ~ 令和8年3月27日 |
| 10 変 更 理 由 | 現地踏査の結果、溝橋に該当する橋梁が見られたため、適用歩掛を変更する。 岡山県からの点検結果入力ファイル配布時期が遅れたことから、点検結果整理に不測の日数を要した。 上記の理由により、数量及び金額の変更と工期の延期を行う。 |

変更契約報告書

| | |
|-------------------|---|
| 1 工 事 名 | 真鍋中学校裏法面災害復旧工事 |
| 2 工 事 位 置 | 笠岡市 真鍋島 地内 |
| 3 契 約 者 | (株)大洋開発 |
| 4 契 約 者 の 住 所 | 岡山県笠岡市入江82番地7 |
| 5 内 容 (概 要) | ブロック積工 A=23.0m ² (23.0m ²) ※()内は変更前 |
| 6 当 初 の 契 約 金 額 | ¥10,802,000 |
| 7 変 更 後 の 契 約 金 額 | ¥12,463,000 |
| 8 当 初 の 期 間 | 令和7年7月29日 ~ 令和8年2月27日 |
| 9 変 更 後 の 期 間 | 令和7年7月29日 ~ 令和8年3月19日 |
| 10 変 更 理 由 | <p>・掘削を行ったところ、既設コンクリートが確認された。施工の支障になるため、取壊し・処分を新規計上する。</p> <p>・現場内での掘削土仮置きが困難なため、仮置き場所までの小運搬を新規計上する。</p> <p>その他諸数量の異同は現地調査による。</p> <p>上記理由により数量及び金額の変更を行うものである。</p> |

変更契約報告書

| | |
|-------------------|--|
| 1 工 事 名 | 鳥ノ江排水路改修工事 |
| 2 工 事 位 置 | 笠岡市 西大島 地先 |
| 3 契 約 者 | (株)大洋開発 |
| 4 契 約 者 の 住 所 | 岡山県笠岡市入江82番地7 |
| 5 内 容 (概 要) | ヒューム管設置工 L=7.3m(7.3m) ※()内は変更前 |
| 6 当 初 の 契 約 金 額 | ¥7,535,000 |
| 7 変 更 後 の 契 約 金 額 | ¥7,799,000 |
| 8 当 初 の 期 間 | 令和8年1月14日 ~ 令和8年3月19日 |
| 9 変 更 後 の 期 間 | — ~ — |
| 10 変 更 理 由 | <p>・設計で敷鉄板を3枚計上していたが、現地調査により敷鉄板を追加計上することで搬入が容易となり、交通誘導員を削減することが可能となることが判明した。このため、敷鉄板を追加計上し、交通誘導員を減とする。</p> <p>・現地調査の結果、捨石の荒均し・本均し数量が追加を追加する。</p> <p>その他諸数量の異同は現地精査による。</p> <p>上記理由により、数量及び金額の変更を行うものである。</p> |